

福島第一原子力発電所3号機付近での白煙発生について
(第四報)

平成 23 年 3 月 14 日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

本日午前 11 時 1 分頃、3号機原子炉建屋で、大きな音が発生し、白煙が発生しました。水素爆発を起こした可能性が考えられます。

パラメータ上、原子炉格納容器の健全性は保たれていると考えております。プラントの状態、外部への放射能の影響等については、現在調査中です。

(お知らせ済み)

午後 3 時現在、当社社員 4 名、協力企業作業員等 3 名が負傷（いずれも意識あり）しております。救急車を 3 台要請し病院へ搬送しております。負傷した 7 名のうち 6 名に放射性物質の付着が確認されましたが、うち 5 名については除染をしております。また、冷却水の補給作業にご協力いただいております自衛隊の方々（4 名）も負傷している模様ですが、詳細は確認中です。

午後 1 時 55 分現在、モニタリングポスト（MP 6）付近の測定値は $15\mu\text{Sv/h}$ （マイクロシーベルトパーアワー）であり、放射線量の上昇傾向は確認されておられません。

午後 3 時現在、当所の南側（約 10 km）風下に位置する福島第二原子力発電所のモニタリングポストの指示値に、これまでと比較して大きな変動はありません。

なお、今後、1、3号機の事象をふまえ、あらかじめ2号機について、原子炉建屋壁面に水素ガスを抜くための処置について検討を行っております。

立地地域の皆さまをはじめ、広く社会の皆さまに大変なご心配とご迷惑をおかけしておりますことに対し、心よりお詫び申し上げます。

引き続き、関係機関と協調して、安全の確保に全力を尽くしてまいるとともに、周辺環境モニタリングを継続監視してまいります。

(参考) モニタリングポスト（MP 6）付近の測定値

午前 11 時 44 分 : $20\mu\text{Sv/h}$ （マイクロシーベルトパーアワー）

午後 0 時 30 分 : $4\mu\text{Sv/h}$

午後 1 時 55 分 : $15\mu\text{Sv/h}$

以 上